
essais ころみ New 2025年12月

2025年12月1日（月） 晴のち曇

土曜も昨日もよく晴れて、暖かで、穏やかな日和だった。今日は20°Cまで上がるらしい。ただし午後から曇空。水曜からぐっと気温が下がる予報だから、風邪に注意。

— おさらい独習 「六十四卦」 — 6.訟

「しょう」、訴訟、争うこと。他の妨害をうけ、仕方なく争う羽目になる。しかし争ってよいことはない。争わずに済む策を練る、講じる。

解説に、「つまらぬ片意地を捨てて、親愛と協調を心がけることだ。あくなき追求は、反動もまた大きいことに心せよ」。

そこで、現代に生きる者として身近にひきよせて考えるところ、

(事象) 反感、対立。例えば会社のためにと上司やトップへ問題の指摘、「改善」の訴え、痛いところをつかれた上の冷たい視線と態度

(心得) 「細心の注意をはらい、始まりの段階から用意周到に準備し事を運ぶ」

(構え)

一、長びかせない。突き進まず、適当なところで切り上げる

二、断念する。今の状況・環境では受け入れられるのは難しいと判断し、自分の仕事を淡々とこなす

三、命に従う。自身の意図したとおりでなくても、甘んじて指示に従い、結果がよければそれでよしと冷静にうけとめる

四、退く。自分では正論をとらえたつもりだったが、独りよがりであったことを気づき、退く

五、中正を守る。自分の利益のためではなく、公正であることがよく理解され、全面的に受け入れられる。

六、勝って負ける。同僚たちに働くかけ、上に実行をのませたものの、仲間たちの意欲が長続きせず、「改善」は空中分解する

以上、「訟」の個人的なまとめ。

自分で仕事をしてきて30年以上、自分なりの学びもそれなりに増えたが、その一つに、「争っていいことは何もない」。

自分自身では人とあまり争うことがなかった。でも人からはよく聞いた。仕事内容での行き違いや報酬のことなど。

人との争いがあまりなかったのにはワケがある。自分の考えをはっきり言うとか、トラブルになりそうな人を関わらないとか、etc

ともあれ、尊厳を冒される場合には正面きって闘わなければいけないけど、それ以外は、自分から去るか、遠ざかるか。

それができない場合は、話し合う、説得するという場面になるが、知的装備が必要だし、メンタルもつよくなければ…。

家庭内から国家間に至るまで、この卦の解説に書かれているとおり、「人の世に争いはつきものだ」。

「争い」はつきものだけど、予防する意識、たぶん日頃の「行い」が予防策につながるのではないか。

29日の「拠点ゼミ」でみなさんに話したように、仕事でもプライベートでも、人との協力、協調、協働が基本でしょうね。